南部町立南部中学校　　『気づき　考え　行動　そして感動の教育』

やる気と感動

学校だより１６号
平成２９年
９月１４日（木）

＝　大きな感動と確かな足跡を残し　第7回 輝城祭　閉祭　＝

６月から取り組みを始め、夏休み明けの２週間急ピッチで取り組んできた、第７回輝城祭は、延べ人数８００名（推定）を超える、来賓・保護者・地域の皆さん・OBや小学生の応援をいただく中で、大きな感動と確かな足跡を残し、成功裡に終えることができました。

『学園祭には一人ではできないこと、一人では学べないことがたくさんある。大勢の人との協力や関わりの中で、一つの目標を成し遂げていく喜びや感動がたくさんある。』と話してきました。第７回輝城祭は、南部中学校でしか味わえない、感動や学び・達成感、そして一人ひとりの成長と集団の成長が実感できた二日間でした。私の３７年間の教職経験の中でも（うち中学校は２９年間）総合的に見て、これだけ質の高い学園祭は経験がありません。過去６回の輝城祭のしっかりとした基盤の上に、さらに確かなそして大きな足跡を残せたと思います。『学園祭を学ぶなら、南部中の輝城祭を見にきなさい。』と今年はさらに胸を張って言える輝城祭でした。きっと本校職員にとっても、これからの教職員人生で、『目指すべき学園祭の姿』として心に刻まれたと思います。

Ｊアラートのミサイル発射情報が出ない事を祈りつつ始まったオープニングは、『テーマ探究』を意識づける寸劇と、三年生全員の気迫あふれるかけ声と、力強い演技の南中ソーランで、三年生の最後の輝城祭にかける決意と強い思いが伝わるものでした。初披露の法被とも相まって、二日間の輝城祭成功へ向けて気の引き締まる最高のスタートとなりました。

１日目は、内船歌舞伎保存会の皆さんの熱心なご指導により、３年連続で上演した一年生の「吉例曽我対面の場」からはじまり、各担当で工夫された展示の紹介、各学級の思いを込めて作った学級旗のアイディア満載の紹介、昨年と違った手法で２年連続のライブパフォーマンスを披露してくれた美術文芸部、南部町の伝説「さつき姫」を資料を基にアレンジし上演した二年生の演劇で締めくくりました。

２日目は、６年ぶりに金賞を受賞した吹奏楽部の見事な演奏（輝城祭を盛り上げる楽しい曲もありました。）からはじまり、三年生の演劇『マイライフ』と『絆』は、自分の生き方を探究していく共通のテーマを持った考えさせられる演劇でした。全校合唱の『校歌』『流浪の民』は一緒に合唱に参加していたので出来映えはわかりませんでしたが、心地よいハーモニーを感じながら、気持ちよく歌えました。午後の体育部門は、各学年の集団行動から始まり、各学年授業の成果を十分に発揮した気合いの入った演技でした。三年生の演技は記念撮影ポーズまで入った圧巻の演技でした。３時間半を

超える競技はリレーを除いては全員参加で、汗だくになってのプレーと、声をからした全力応援で大いに盛り上がりました。今年は生徒の力だけで集合・整列・入場・退場をきっちりやりきったことは特筆すべき事です。（輝城祭史上初？）

フォークダンスは恒例のジンギスカンを何度も踊り、OB も巻き込んでへとへとになるまで踊りました。閉祭式は感動のシーンを映像と代表の言葉でふり返り、昨年度と違ってしっとりとした中で感動を分かち合い、輝城祭にご協力をいただいた全ての方々に感謝しながら、生徒会長の閉祭宣言で『第７回輝城祭』は閉祭しました。

来年度は現１・２年生が中心となって、第７回輝城祭の成果を礎に、さらに輝く第８回輝城祭を目指してくれると思います。期待しています。

まだまだ書き切れないほどの感動のシーンや、成果がありますが、学年・学級通信や子どもさんからの話を聞く中で、その頑張りを評価してあげてください。

『探究』から『深化』へ

輝城祭で得た大きな成果を、日常の『深化』（本年度生徒会スローガン）へしっかりと繋げていくことがこれからの課題です。輝城祭で培った『チーム南部中』の力を日常生活に生かしていくことで、輝城祭の成果がさらに輝きます。

しかしながら・・・。輝城祭後の数日で気の緩みからか、残念な場面がいくつか見られました。①上履きのかかと踏みが目立ってきた。②けがや事故につながる危険な行為が見られた。（人を傷つけるものではありませんが。）③小さくなったチョークが教室等の南側に複数投げ捨てられていた。④あいさつの声が小さい人がいる。⑤給食中の提出物評価をしっかり聞けない人がいる。（注意の声もない。）⑤については南中ライフ、自主学習ともに2B が全員提出したにもかかわらず、話を聞かないで評価の拍手ができない人が多かったので、思わず大きな声で注意をしました。

皆さんは当たり前のことが当たり前にできる『南部中生徒』です。その上に輝城祭の成果を積み上げた『南部中生徒』です。

今すべきこと。これからの目標を、個人・学年・部活・委員会などそれぞれの立場できちんと確認していくことが大切です。自らの『気づき・考え・行動』を意識したいものです。

保護者の皆様へ

輝城祭参観・ご協力ありがとうございました。

さて、明日１５日（金）の振替休業日から１８日（月）敬老の日まで４連休となります。交通量が増え、あわせて台風の接近も予想されますので、是非安全に留意するとともに、次の目標（３年は進路、１・２年は新人戦と基礎学力向上）へ向けしっかりとスタートできますよう、ご家庭でもご指導をお願いします。

１７日（日）と１８日（月）は１・２年生は部活動を予定している部もありますが、台風の接近の影響で変更の可能性もありますのでご承知おきください。その際には安心メールなどでご連絡します。